

令和年11月19日

芦屋市企画部市民参画・協働推進課
課長 山川 尚佳 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしや NPO センター
事務局長 橋野 浩美

芦屋市公光分庁舎消防避難訓練報告書

- 1 日 時：11月19日（水）10：00～10：30
- 2 担 当：金子
- 3 参加者数：38名
(市民活動センター利用者：28名、市民活動センター職員：6名、
公光分庁舎南館職員：4名)
- 4 内 容
 - (1) 目 的：消防法に基づいた避難訓練は年1回実施する。火災発生時の対応が円滑にできるようにする。
 - (2) 内 容：公光分庁舎北館1階給湯室での出火を想定した消防訓練（通報訓練・避難訓練・消火訓練）
 - ・給湯室から出火を確認し通報を行う（通報訓練）
 - ・出火場所での初動消火訓練
 - ・北館利用者の避難誘導、避難訓練
 - ・水消火器を使った消火訓練
- 5 参加者の感想
 - ・避難時に、足が悪く階段が不安だったが消防隊員の補助があり安心した。
 - ・消火器を使う機会がないので水消火器体験ができてよかった。
- 6 振り返り

芦屋市消防本部立ち合いのもと公光分庁舎合同で避難訓練、消火訓練を行なった。火元が北館のため、南館職員の協力で北館利用者の避難誘導や初期消火等を行った。

 - (1) 通報訓練について
 - ・非常ベルを止めるタイミングとして、館内に火災を周知できるように少しながめに鳴らすことの指導をうけた。火災現場を見ていない状態での通報だったが、質問には落ち着いて答える事が出来た。
 - (2) 消火訓練について
 - ・火元に消火器3本（南館より2本）での初動消火訓練ができた。

(3) 避難誘導について

- ・ 2階は誘導4名（リード2名、北館職員2名）の予定がリード職員2名での誘導となった。2階は会議室が多いため利用者も多く、誘導に時間がかかるために南館との協力、連携が必要であることを再確認した。今後の課題としては、南館との細かい情報共有を徹底する必要がある。
- ・ 事前に訓練を実施することを案内していたため、火災報知器が鳴ったと同時に参加者が避難を開始してしまった。
- ・ 歩行困難な方は、火元より遠い場所（今回であれば2階エレベーター前等）に待機し消防隊員へ引継ぎ救出をお願いした。
- ・ 今回、出火場所が1階給湯室での実施で、通路が狭かったためスムーズな避難誘導を行うべくオープンスペースの鍵を外から開放し避難誘導を行った。

(4) 水消火器を使った消火訓練について

- ・ 消防隊員の指導の下で、施設利用者及び職員が消火訓練を行った。

(5) その他

- ・ 火災受信盤で非常ベルの停止はできたが、セコムの非常ベルを停止する認識がなかった。停止方法の記録を残し次回から生かしていく。

以上

訓練風景

